

# やすらぎ

平成20年10月1日  
〔第114号〕

発行 御所モラロジー事務所 発行責任者 吉田 実  
〒639-2241 奈良県御所市茅原118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

## 生涯学習セミナー

9月18日、19日に第12回生涯学習セミナーが御所市アザレアホールで行われました。

今回のセミナーでは「今まで参加していない方を重点的にお誘いしよう」ということで過去に参加してもらった方プラス99名の初参加者の申し込みを頂きました。

また、例年であれば締め切り間際にしか目標数に達しませんでした。今回は皆の真剣な取り組みによって目標としていた200名は1週間前には越え、申し込み総数は目標を大きく上回る271名ありました。

しかし、セミナー期間が台風の接近と重なり、参加者が大幅に少なくなるのではと心配されました。ところが一日目の出だしも良く参加者でホールは超満員、会場内は通路に椅子を出しての聴講となり、心配は杞憂に終わりました。一角昌博講師、山田修講師も満員の受講者の心に届けとば



かりの熱のこもった講義が二日間続きました。

駐車場は参加者の車でごった返し、通常使う駐車スペースでは入りきらないので縦列駐車に停めていくといった駐車場系の苦勞がありました。

今回の司会は、井上義久さんと岡川玲子さんで、どちらも初めての司会経験でした。二人は熱心に何回も練習をされていましたが、来賓紹介のスケジュール変更にあたり、慣れない司会で、少々硬い表情で司会をされていました。しかし、これ



も良い経験になったと思います。

この二日間は警報が発令され、セミナーが中止になるのではないかと不安が常に皆の頭であり、とりわけ山下実行委員長は心休まらぬ日々だったと思われます。スタッフ一同の気持ちが通じたのか台風の影響は軽微で、二日目の終了時には雨も上がっていました。

今回のセミナーでは、両講師の宿舎を森戸家・山下（恭）家をお願いしました。宿舎の提供を、最近では敬遠されがちでホテルを宿舎にしていたが、講師のお世話の中で生まれる想いや、セミナーから帰られた後の講師と家族との懇談が大変良かったと聞いています。また、お帰りになる朝には講師と写真を撮ったり、名残惜しく握手をする場面もありました。

今回、私が気づいたことは、今後たくさんの参加者に対応できるスタッフや会場・駐車場のスペースが必要だということ、いざという時の対応・体制作りができるかということ、講師ばかりに気を取られていて、参加者が本当に喜んでお帰りになっていただけたのかということです。これらを次回のセミナーや他の催しに役立てていきたいと思っています。

講師係 米田豊高



第12回生涯学習セミナーの講師とスタッフ

### ビジネスクラブ企業訪問

天(てん)そげ、りきゅう、らんちゅう何のことか分かりますか。

9月6日、奈良県モラロジービジネスクラブの企業訪問が行なわれました。

近鉄橿原神宮前駅に9時20分に集合した参加者は、バスに乗り込み、まず、五条市住川町にある金陽製薬テクノ奈良工場を目指しました。

バス中では山田幸雄会長が「今日1日しっかり学んで下さい」と挨拶、25人は期待に胸を膨ら

ませます。ほど無く、目的の金陽製薬の工場に到着。近代的な新しい、栄養ドリンクの一貫製造ラインを見せていただきました。

この工場は平成12年から稼働を始め、現在社員数は46名、敷地は8000㎡、建物の床面積は4300㎡で60品目、年間6000万本のドリンクが生産され全国に出て行くそうです。

社長の北山英樹さんは3代目で、「安定した、良品質を目指している」「大量生産して全国制覇というより、小回りの効く、的確にニーズに応えられる工場を目指している」と話す。

見学後の質問会では、「私はドリンク大好き人間、値段の高い方が効くのか」「味付けはどうするのか、どのような傾向か」など、ユニークな質問も飛び出し和気藹々の良い雰囲気でした。また、工場長の「事故も無く、今日まで創業できた」と言う言葉に至誠を感じました。

次は、冒頭为天そげ、りきゅうです。箸の名前で、箸の手元部分を斜めに削ってあるのが天そげ、両端を細く削ってどちらでも使えるようになっている丸い箸がりきゅう、りきゅうの様だが断面が小判型になっているのがらんちゅうと言いま



す。らんちゅうが一番上等で、名は金魚のらんちゅうに由来するとか。

この箸を大量に扱っている、(株)シンワを訪問し2万点の商品のほんの一部、を見せてもらい山田悦雄社長の話を聞く。当クラブの顧問でもある。



企業の幹部のなすべきこと、「後継者を育成する」。また、部下が働きやすい環境をつくる。各人の充実感を満足させ、企業の業績を向上させる。言うときますが私には出来ません。

平成8年、会社が経営困難になり85名の社員を50名に減らす苦渋の選択をされた話を聞きました。そのとき自分自身に感じた「経営者ほど見栄、体裁を考えない人間はいない」に同感です。

社員を信用できるか、永続性と堅実性を備えているかと問われて、小さくなっていましたが、「従業員は人生の3分の1を企業内で生活している。経営者の従業員に対する責任は重い」の言葉に、家庭訪問をするかしてもっと社員を知らなければならぬと思いました。

その後は西吉野「さえき」にて、上等の料理でにぎやかに会食をしました。山田社長から、(株)シンワのメイン商品である箸をたくさん頂いたことを付記します。

米田徳七郎

## 佐藤薬品 NMC 青年セミナーに参加して

今回で3回目となる佐藤薬品NMCの青年セミナーが、大塔コスミックパーク星のくにで、8月22日(金) 19:00~23日(土) 13:00の日程で開催さ

れました。

参加者はおよそ75名、ほとんどが佐藤薬品の社員の方々でしたが、10名ほど奈良県内の青年クラブのメンバーも参加させて頂きました。私用のため、私は23日9時の講義から参加させて頂きました。

生駒事務所の吉村善明社会教育講師に来て頂きました。講師は、「モラロジーとは、つながりをよくする学問である。人間は一人では生きて行けない。親と子・上司と部下・社会と私・自然と私など誰かとの関わりをもって生きています。人とのつながりをより良くする為には、まず自分自身が変わらない限り関係はよくなりません。相手を変えようとしても、なかなか変わってもらえないのが現実です。」という切り口から講義が始まりました。

次に、「魅力のある人とは・・・? 北京オリンピックの金メダリストのインタビューを聞いても、『自分一人の力で勝ち取った』という選手は誰もいない。『周りの人々の支えがあったからこそ、メダルを取ることが出来た』と言う謙虚な心の持ち主だからこそ、観ている私達も感動するのではないのでしょうか。やはり、人間性(道徳性)が大切なのだと思います。道徳性=品性を高めていく為には、日頃から意識して良い心を使う努力が必要です。悪い心とは、損得・好き嫌いで判断する自分中心の心であり、良い心とは、親孝行や相手を思いやる心であり、感謝する心なのです。」



と講師の体験を交えて解り易い講義をして頂きました。

講義終了後は、外で記念撮影を行い昼食会場に移動しました。各食卓には、冷やしそうめんと豪華

なおダブルを用意して頂き、交流を持ちながら楽しく食事させて頂きました。そうめんは私達が



受講しているあいだに、スタッフが用意してくれたもので、よく冷えていて食が進んだように思います。ささやかな心づかいが心地よく、お腹と共に心まで満たされて行く気持ちになりました。

参加して気づいた事は、セミナーの回を重ねるごとにお世話するスタッフが増えていることです。やはり、何事も続ける事が大切なのだと改めて気づかされました。

スタッフの皆さんをはじめ、佐藤薬品の皆様さんに心より感謝しております。ありがとうございました。

青年クラブ 細川成樹

### 錫杖が岳（しゃくじょうがだけ）登山

8月24日亀山市にある錫杖が岳に登る。

朝起きると、今にも雨粒が落ちてきそうな曇天。今日は中止かな？と思いつつ、とりあえず事務所に向かう。雨が降っていてもやめようと云うメンバーではない。

10人が3台の車に分乗し亀山を目指す。名阪国道伊賀上野あたりで、前が見えない位の大雨になる。ところが柘植のサービスエリアでトイレ休憩をとるころには、雨は上がっていた。

下山予定の関トンネルを越えた辺りに車を1台止め、トンネルを戻って向井インター付近から歩き始める。曇天だが大丈夫そうだ。1時間ほど登ると鎖場の連続になる。私は黙々と歩くより、こんな岩場とかロープづたいが好きだ。歩き始め



て1時間半で頂上に着いた。標高676m。「険しい岩場の山から360度の大パノラマを楽しむ」と言うガイドブックの案内そのまま、絶景である。雨が降って中止になったら・・・なんて期待したのが恥ずかしい。

頂上直下の小屋で昼食を取り下山する。200m下り、途中の三等三角点まで100m登って目的地に降りる予定が、「ここから危険入るな」の看板に阻まれ迂回することに。山のプロ達は方向が違うことに心配しながらの下山でした。結局山頂から北東に下山する予定が東に降りることになり、大きな公園やバーベキューが出来る広場のある錫杖湖に出ました。

ここから車を置いた関トンネル付近まで歩くのは私たちの足では無理。タクシーで送ってもらうことに。

途中伊賀上野でゆっくりお湯に浸かり、今日の疲れを取り、無事事務所に帰りました。事務所では青年部の家族が焼き肉パーティーをやっていました。

上田 均

### 敬老キャンペーン

9月15日(月)敬老の日、午後3時よりライフ御所店にて、小雨の降る中10名の参加で、ニューモラル配布をさせて頂きました。

開始早々はお客さんの出入りも少なく、500部の配布は無理かな?と心配しましたが、4時頃には雨も上がり人通りも多くなり、4時半には配布を終了しました。

その後、お月見シーズンでマクドナルド「季節限定のハンバーガー」があるとの情報を聞き店内へ。ハンバーガーを初めて食べると云う人が殆どでしたが、おいしく戴き満足顔で解散いたしました。

雨の中お手伝いいただきました皆さん、有難うございました。

社会貢献委員



### 均とマサヨの独逸見聞録 その5

ドイツには有料道路は有りません。アウトバーンという日本の東名、名神のような道路がありますが、タダです。

速度も町中では、60km~70kmと云うところもありますが、郊外では最高速度無制限と云うところもあります。

スピード違反には厳しいようで、移動式速度検知器もあります。私の友達も引っかけり違反した写真を楽しそうに見せてくれました。(制限速度の10kmオーバーでもダメです)

ドイツ人は無制限道路をベンツで思いっきり走るのが夢のようです。

### 運営委員会報告

9月度運営委員会は定例の22日事務所で開催され、11人が出席しました。吉田代表世話人は、「生涯学習セミナーでは、いろいろとご協力ありがとうございました。本部から贈られてきた敬老の日記念品を届けて来ました。また過日の世話人会議では、思慮を欠いた発言で迷惑を掛けたことを反省しています」と挨拶しました。

#### 報告事項

1. 「れいろう」創刊50年記念 家庭教育シンポジウムIN大阪が開催されます。ご参加下さい。(吉田代表世話人)

2. 「敬老キャンペーン」ニューモラル誌配布について(上田社会貢献委員長)

9月15日(月)15:00~16:30小雨の中、ライフ御所店前に於いて500部配布。参加者は10名でした。

3. 第12回生涯学習セミナーについて(山下実行委員長)

台風13号が接近でも悪天候にならず、無事開催することができました。いろいろとご協力ありがとうございました。

10月4日(土)伊勢神宮へ「セミナー終了お礼参拝」に行きます。参加希望者は9月30日(火)までに実行委員長まで申し出てください。

市教育委員会へ御礼に行きます。(生涯学習に使っていただく目的として30,000円を寄付する事に決定)

参加者状況(別表)

参加者:参加費をいただいて、1日以上出席された方  
申し込み数は、271名。全日欠席者数は、20名でした。

来賓も8名参加してくださいました。

4. その他

- ・廣池幹堂理事長が、11月6日(木)伊勢神宮に参拝されます。参加希望者は、9月30日(火)までに吉田代表世話人まで申し出てください。10月4日(土)までに本部へ申し込みます。
- ・皇室カレンダー(1部590円)の申し込みは、10月29日(木)締め切りで地区委員が取りまとめる。
- ・女性クラブは、来年度より親睦のため他事務所を訪問予定。
- ・入院中の吉村孝一さんは、元気はあるが依然右半身が不自由。お見舞いに行きましてあげてください。

審議事項

1. セミナー事後開発について(山下実行委員長)

生涯学習講演会を11月と来年2月に開催する。講師は、セミナーにお越しいただいた両講師に依頼。日程は、11月15日(土)または22日(土)昼の部と夜の部の2部制。場所は、事務所講堂。内容は、代表世話人と実行委員会で検討す

参加者 内訳	参加者 合計	251名						男性154名 (61%)	女性97名 (39%)	初参加99名 (39%)	維持員33名 (13%)
	年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計		
		3名	36名	50名	31名	41名	70名	20名	251名		
		1%	14%	20%	13%	16%	28%	8%	100%		

る。  
 集団受講は、来年2月(2月17日(火)~22日(日))または5月の本部講座に予定。受講推進担当と実行委員長が打ち合わせをする。

2. 市内小学校へのニューモラル誌配布(希望校)について(吉田代表世話人)

葛小学校と御所小学校がニューモラル誌の配布を希望されている。セミナー参加校へお礼に行った時、毎月のお届けと部数をたずねる。

その他

- ・行事日程表の印刷について  
 現在、広報委員会が「やすらぎ」の1ページとしてA4で作成しているが、「少し文字が小さく見づらいと感じる」ためB4サイズで仕上げる。今後は、従来通り行事日程表作成の研修委員会が行い、毎月29日の地区委員会までに仕上げる。
- ・掲示板(講堂内)の利用について  
 重要な掲示物については、その内容をよく説明してから掲示板に貼り付ける。

編集後記  
 慣れないパソコンで初めて「やすらぎ」の校正編集が終わって3ヶ月目。安心していたところに私の10月号がやってきました。  
 今回は何とかメールで来た原稿を貼り付ける、と云う作業は順調に行きました。ドンドン貼り付けてると四ページに収まらなくなり、五ページ目に、そこで原稿は終わり。あらあら六ページ目真つ白。編集会議で写真を大きくして埋め合わせをと、2判の写真を一枚貼り付けることに。今度は写真があつちに行ったりこちに来たり、またまた編集長におんぶにだっこ状態で原稿が出来ました。  
 きん